

平成28年度一般財団法人富山県バスケットボール協会 第6回理事会 議事録

- 1 開催日時 平成28年12月7日(水) 午後7時03分から午後8時47分まで
- 2 開催場所 富山県総合体育センター小研修室
- 3 理事総数 24名
- 4 出席者 (1) 出席理事14名 荻原隆夫、山崎 均、松倉弘英、丹羽昭雅、廣川知巳、
構富士雄、杉本賢二、柴田 宏、清水久資、濱住知明、
酒匂博臣、松井昭博、小坂龍人、松元健悟
(2) 欠席理事10名 野上浩太郎、牧田和樹、深松篤夫、重原 裕、松倉恒輔、
堀田哲博、大谷孝行、岩城廣和、柳瀬雅之、黒田 祐
(3) 出席監事2名 岩崎 修、北川義則
(4) 出席事務局 山木葉子
- 5 議 事
第1号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会表彰規程の制定について
第2号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会慶弔規程の制定について
報告事項 (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について
(2) (公財)日本バスケットボール協会都道府県連絡会の結果について
(3) 市町村協会長等との意見交換会の結果について
(4) 各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について
そ の 他 (1) 第4回富山県籠球懇話会について
(2) 平成29年度国民体育大会における競技スタッフについて
(3) 平成29年度の主な事業計画について
(4) 法人化記念事業「筑波大学男子バスケットボール部の合宿招へい」について

6 会議内容

(1) 会長代行挨拶 (荻原会長代行)

野上会長は内閣官房副長官に就任され、多方面で活躍されている。本県バスケットボール界では、竹田雄介君がA級審判への推薦が決定したほか、本県出身の馬場雄大君がインカレにおいて筑波大学男子3連覇に貢献した。一方、富山グラウジーズは低迷を続けており、更なる応援をお願いしたい。

本日の理事会は、規程の制定などについて審議いただきたいと挨拶があった。

(2) 理事会成立

構常務理事が理事の出席状況として、理事総数24名中、出席理事12名(議決時14名)であり、定足数を満たしているとの報告があった。また、岩崎監事、北川監事に出席いただいているとのこと。

(3) 議事の経過の要領及びその結果

議長は定款第35条の規定により、荻原会長代行が選出され、議事進行を務めた。

- ◆第1号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会表彰規程の制定について

議長から説明が求められ、松倉専務理事が従前の表彰規程を例に制定する原案を説明した。表彰時期や補則の高等学校卒業者の規定、別表の別に定めることについての質問の後、賛否を諮ったところ出席理事全員一致で可決した。

◆第2号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会慶弔規程の制定について

議長から説明が求められ、松倉専務理事が従前の慶弔費内規を例に制定する原案を説明した。特に質疑がなく、賛否を諮ったところ出席理事全員一致で可決した。

(4) 報告事項

◆会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について

松倉専務理事から定款第27条第6項の規定により、会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について報告があった。

◆(公財)日本バスケットボール協会都道府県連絡会の結果について

丹羽常務理事から11月19日に金沢市で開催された連絡会の概要について、資料を基に報告があった。北信越協会の在り方や北信越エンデバー、リーグ戦の開催方法などについて質疑あり、今後、JBA方針の下で進めていく旨の回答があった。

◆市町村協会長等との意見交換会の結果について

・杉本理事(総務)から、市町村協会長等との意見交換会について資料を基に報告があった。

◆各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について

- ・柴田理事(競技)から、北信越総合選手権の開催結果の報告があった。
- ・濱住理事(審判)から、レフェリー・マニュアルの伝達とA級審査会の報告があった。
- ・酒匂理事(強化)から、U-15の第2次選考を進めていくとの報告があった。
- ・小坂理事(高校)から、新年度に環日本海インターハイの開催予定との報告があった。
- ・松元理事(車椅子)から、あいの風大会の協力依頼があった。

(5) その他

◆第4回富山県籠球懇話会について

杉本理事から、年明け後に第4回富山県籠球懇話会を予定しており、その講師として意見照会があった。今後、総務委員会の案を基に日程とともに調整していくこととなる。

◆平成29年度国民体育大会における競技スタッフについて

酒匂理事から、少年男女及び成年女子の監督について提案があり、承諾を得る。なお、成年男子については、年度内を目途に調整を進める。

◆平成29年度の主な事業計画について

柴田理事から、天皇杯・皇后杯2次ラウンドの日程が決まっており、それを考慮し県総合選手権を予定している。2次ラウンドに出場するチームは、一般チームのベスト4とインターハイ予選のベスト2により決定する。このことは、各連盟等に各チームへ説明することとなる。

2018年度からのリーグ戦を見据え、新年度からポイント制を検討しておくべきである。

◆法人化記念事業「筑波大学男子バスケットボール部の合宿招へい」について

廣川常務理事から、ユニバシアード合宿日程の変更により、3月23日～27日の間に富山市内で実施することとなり、指導者講習や練習ゲームを予定していると報告があった。

◇北川監事から、YKKが後期北陸実業団選手権で優勝し全国大会に出場するため、激励金を交付するよう申出があり、規程に基づき対応する旨の回答があった。

本理事会の議案等全ての審議が終了したので、午後8時47分に構常務理事が閉会を宣言し解散した。